

2021年4月20日掲載 輸送経済新聞

東京プロジェクトの一環

整備工場と社宅が竣工

第一貨物 埼玉県内に

第一貨物（米田総一郎社長）は14日、同社「東京プロジェクト」の一環となる、埼玉整備工場と八潮社宅を竣工させた。

埼玉整備工場は埼玉県吉川市に所在。敷地面積9131平方尺、建物が延べ床面積2404平方尺の規模。完全屋内型整備工場として、整備場9ストール（うち塗装専用1ストール）、完成車検場1、屋内洗車場1を構え、アーム式リフト2、二柱式リフト3、三柱式リフト2、四柱式リフト2、フロアリフト1

を備える。整備場内は冷暖房を完備し、女性整備士対応設備も備えており、定期整備台数は当初年間約5千台（うち車検整備1500台）を計画し、将来的には約7千台（同2千台）まで拡大する予定。東京支店内の旧東京整備工場と、八潮支店内の旧埼玉整備工場を統合移転したもので、最新鋭の設備を導入することにより、車両整備業務の効率性向上を図る。

一方の八潮社宅は、埼玉県八潮市に所在。敷地面積は1864平方尺で、建物は地上5階建て（一部3階建

て）。総戸数は47戸で、1K34戸、2K3戸、2DK4戸、3DK6戸。旧八潮社宅の代替として新規建築し、埼玉整備工場や八潮支店の従業員の居住環境を改善することも、東京地区での新規採用競争力向上にもつなげていく考え。



新整備工場は完全屋内型で、最新鋭の設備を導入